



真に使いこなすために

校長 藤森克彦

PC検索エンジンで調べてみたら、今は「多機能筆箱」とか「ハイテク筆箱」とかで呼ばれているようです。

私が子どものころ、いろんなところがパカパカ開いたり鉛筆がバコーンと持ち上がったたり、消しゴムを入れる引き出しがボタンを押すと出てきたり、実用半分・遊び半分みたいなギミック満載の筆箱がありました。そのあまりの魅力に、子どもたちは勉強中いじってばかりで集中できなかったのでしょう。いつしか学校での使用が禁止になり、昭和の遺品になってしまったのかと思っていましたが、先日大型スーパーの文房具売り場で目にし、急に懐かしくなりました。

さて、新型コロナの関係で遅れていましたが、「GIGA スクール構想」による児童一人1台の端末(iPad)が2月中旬以降に導入されることになりました。タブレット端末を優れた文房具の一つとして使いながら学習する、そんな時代がいよいよきたことを楽しみにしています。先日読んだアンデシュ・ハンセン著『スマホ脳』(新潮新書)の一節に、スタンフォード大学の研究をもとにした、集中力と脳の働きに関する興味深い話がありました。

人間の脳は様々なことを処理する能力がありますが、集中力についてはかなり限定的だということです。それは、私たちは一度にひとつのことしか集中できないということです。複数の作業を同時にこなしていると思っていても、実際は複数の作業の間を行ったり来たりしているだけだそうです。例えば、講義を聴きながらメールを書いているときなども、集中の対象を頭の中でパッパッと切り替えています。そのとき問題なのは、作業は切り替わっても脳の集中の意識が切り替わるのにタイムラグが生じてしまうということです。作業の対象がメールを書くことに移っても、脳の処理能力の一部はまだ講義を聴くことに残っているのです。その逆も同様です。メールを書くために数秒の時間を費やただけでも、再び元の作業に100%集中できるまでに、何分も時間がかかるといいます。並行して複数の作業ができる人もいますが、人口のほんの1~2%だそうです。

このように、複数の作業を同時に行くと効率よく脳が働かないのに、なぜ脳は複数の作業を同時に行ってしまうのでしょうか。それは、複数の作業の間で意識を移動させると、脳の神経伝達物質ドーパミンによって気持ちよくなるためだからです。これは私たちの祖先が、危険を察知して自分の命を守ったり獲物を追ったりするため、些細なことも見逃さずあらゆる刺激に迅速に対応できるようにしておく必要があり、脳はそうやって進化してきたからだということです。つまり、人間はもともとあちこちに意識や興味がわいてしまう本能があるので、集中するためには意図的に自分自身を律して取り組む意識や環境づくりが大切だということがいえます。

確かに私自身この文章を書いている間、何度も机上にあるスマホを手にはしています。具体的に調べたいことがはっきりしている時もありますが、筆が進まないときに何気に見てしまう。見たからといっていいアイデアも出てくるわけでもないのに、何となく進めているような雰囲気になります。そのうち、新しいメールはきていないだろうか、何か面白そうなニュースはないか、スマホの画面をだらだらとスクロールしてしまっています。

このように、現代のデジタルライフでは、私たちは複数のことを同時にしようとする傾向があるようです。これが大人ならまだしも、子どもだったらどうでしょうか。集中して学習しなければならぬのに、何気なくタブレットを手にとってしまう。タブレットをいじっていれば何か学習している雰囲気になっているだけで、結局は実際の学力が身に付いていない、ということにはならないでしょうか。

子どものころ、多機能筆箱の多機能の部分に触っているだけで時間が過ぎてしまったのと同じように、「ながらタブレット」「学習しているつもりタブレット」で時間がなくなってしまうたら、せつかくのハイテク機器も諸刃の剣です。

これから学校では、機器の使い方をはじめセキュリティールールなど、発達段階に応じて段階的に指導し日常的に使いこなせるようにします。大事なことは、場面ごとに活用する目的をはっきりさせて使うこと、そして、おうちの人や先生、友達が話をするときは、タブレットから手を離して話している人を見る、こうしたデジタルライフの基本的なルールや適切な習慣もしっかり身に付けさせていきたいと思ひます。

1年 「チャレンジがんばるぞ！」 1年担任 岸田 淳生

1年生が最近頑張っていることは、チャレンジジャンプ（長縄での8の字跳び）です。初めは入るタイミングも跳び方もよく分からなくて回る縄を見ている時間が長かったのですが、少しずつリズムをつかんで跳べるようになってきました。互いにアドバイスをしたり、入るタイミングを教えたりしてみんなで記録を伸ばしています。また学級の記録が少しずつ更新されてくると他の学級の記録が気になるもので、学級同士のライバル意識が芽生えてきました。互いに争いながら記録を伸ばしていく雰囲気が出ています。

自分たちで声を掛け合って助け合い競い合いながら、失敗しても前向きに力をつけていく様子を見ると、チャレンジジャンプだけではなく学校生活の様々な面で同じように成長してきたことを思い、胸がいっぱいになります。

立派な2年生になれるように、残りの時間を過ごしていきます。

5年 「最高学年に向けて」

5年担任 岡崎 真由美

6年生の卒業が近付き、5年生もいよいよ最高学年になる準備を本格的にすすめていく時期になりました。3学期からは、委員会活動で委員長や副委員長の役割を5年生が6年生から引き継ぎます。「自分たちがリーダーとなって頑張ろう！」と多くの子がすすんで立候補することができました。これまで一緒に活動する中で、みんなをまとめていくかっこよさ、任された仕事に対する責任感、意見を出し合い創り上げていく企画力など、6年生から多くのことを学んできました。良いところを手本に、学校をよりよくしていこうと向上心をもって活動できる最高学年になってほしいと思っています。また、今月予定されているフレンドタイムでは、6年生に感謝の気持ちを伝え、喜んでもらえるような時間にするために、5年生が中心となり準備を進めていきます。うまくいかないことがあったとしても、それも良い経験です。失敗を成功のタネにして、最高学年へとすすむ準備を積み上げていきたいです。

2年 「めざせ！九九マスター」

2年担任 滝川 幸恵

2年生の子どもたちは、2学期に学習を始めた「九九」を確実に覚えようと一生懸命に取り組んできました。授業中はもちろんのこと、休み時間や家庭学習でも必死に練習を重ねて頑張りました。学級での検定を経て、3学期はいよいよ校長先生検定に挑戦しています。学級での検定とはまた違う校長室での検定に、九九に自信のあった子どもたちでも緊張した様子が見られましたが、校長先生に合格をもらって賞状を手にする、達成感に満ちた表情を浮かべていました。校長先生検定に合格した友達の誇らしげな様子を見て「早く校長室に検定に行きたい！」と刺激になった子もいます。130人の九九マスターの誕生はもうすぐそこです。

「高学年に向けての第一歩」

4年担任 小池 絢子

4年生では、毎年この時期になると各クラス2名代表委員を選出することになっています。「クラスのために一生懸命頑張りたい」「チャレンジしてみたい」クラスの代表として意気込みを発表した子どもたちの熱い思いが胸にささります。立候補したけれど選ばれなかった子の中には悔しい、つらい思いをした子ももちろんいます。私はその姿を見て、感じた思いは全て自分の力になっていると伝えました。まずクラスのために、学校のために頑張りたいと立候補したこと。クラスの前で、緊張しながらも一人一人の顔を見て一生懸命に話をしたこと。自分の思いを行動に移したチャレンジ自体が高学年に向けての第一歩です。4年生は、一人のやってみようという思いが周りに広がって大きなエネルギーに変えることができる学年です。ひたむきにチャレンジし続ける姿をこれからも見守っていきます。

「ネットリテラシー教室」

3年担任 岩本 未央

1月21日（木）に各教室にてネットリテラシー教室を行いました。慶応義塾大学の学生がZoomを使いオンラインゲームの正しい遊び方について教えてくれました。ほとんどの子どもがゲームを持っている中、オンラインで他の人と関わっていることもあるようです。

「個人情報オンラインゲームで知り合った人に教えてしまったらどうなるか」という題材で、問題点についてそれぞれ考えました。そして二人組で話し合ったことを発表しました。「知らない人には名前や住所などの個人情報を教えてはいけません」「知らない人とオンライン上で会う約束はしてはいけません」などを学びました。一人一人が留意すべきことが分かった様子でした。これを機にネット上のルールやマナーを理解してほしいと思います。



6年生の様子

6年担任 清水 沙織

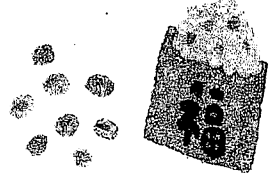
卒業まで、残り2か月。6年生は、卒業文集作りに取り組んでいます。「将来の夢」「6年間の思い出」「成長したことや学んだこと」「座右の銘」など、それぞれが様々なテーマで自分の思いをまとめています。ふり返ると、今年は例年とは違った形での学校生活を送らざるを得ませんでした。しかし6年生は、私たちの期待以上に頑張りました。分散登校の中で始めた1年生のお世話。初めて四色対抗で行われた大一体育祭。様々な制約の中で5年生と協力してやり遂げたフレンドまつり。普段の学校生活も穏やかに落ち着いた日々でした。他学年の先生方が、6年生のよいところに向け、声をかけてくださったことも、励みになったことでしょう。今後は、文集委員を中心にクラスページに取り掛かります。きっと、一人一人の成長が表れた、皆の思いのこもった卒業文集になることと思います。



年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

- 生活のめあて 静かに歩きましょう
- 保健のめあて うがい・手洗いをしましょう
- 給食のめあて 食事のマナーを考えて食べましょう



2月の行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	月		15	月	
2	火	放送朝会 避難訓練	16	火	放送朝会 新1年生入学説明会(14:00~)
3	水	体育朝会①(2・4・6年)フレンドタイム⑦	17	水	フレンドタイム⑧
4	木	体育朝会②(1・3・5年)	18	木	
5	金	読書週間終 委員会⑩	19	金	保健集会(放送)
6	土	土曜授業 安全指導 すまいる新入生保護者会(13:30~14:00)	20	土	土曜授業 授業参観 セーフティ教室(2・6年)
7	日		21	日	
8	月		22	月	
9	火	放送朝会 6年卒業アルバムクラス写真撮影	23	火	天皇誕生日
10	水		24	水	定期考査(6年) 品川教育の日
11	木	建国記念の日	25	木	
12	金	音楽朝会 クラブ⑩	26	金	児童集会(放送)
13	土		27	土	
14	日		28	日	

※新1年生入学説明会は9月保護者会に配布した9~3月分の年間行事予定と日程が異なります。

生活指導部より~うがい・手洗いをしましょう~ 生活指導部 藤田 貴城

2月の生活のめあては、「うがい・手洗いをしましょう」です。冬の空気が乾燥しているこの時期、また、暖房での乾燥もあり、校内の各教室では、加湿器をつけて乾燥を防いだり、常に窓を開けて空気の入替えをしたりしています。また、中休みや昼休みの時間が終了し、校庭から戻ってくる子どもたちに、うがい・手洗いをし、水を飲むように必ず言葉をかけています。

昨年から感染症予防に気を付けていたため、多くの子どもたちが予防の習慣が身に付いていることと思います。しかし、授業が始まる前に言葉を掛けると、うっかり手洗いを忘れていたという様子が見られます。今一度意識してうがい・手洗いをしていきましょう。また、手洗いをした後にハンカチを持っていない子も見かけます。ハンカチを持っていないと、衛生上よくありません。毎日忘れずに洗濯したハンカチを持ってきましょう。ご家庭でも、うがい・手洗い、ならびに、洗濯をしたハンカチの準備をするよう、お子さんに声かけをお願いいたします。

リレーコラム「かかわる、創る」 2年担任 図書担当 難波 淑子

大井第一小学校の子どもたちは読書が大好きです。もっと多くの素敵な本に出合っしてほしいと思い、2学期の読書週間に『本の紹介コンクール(低学年)』、『本の帯コンクール(中学年)』、『ポップコンクール』を開催しました。多くの応募作品の中から選ばれたベスト3は、現在学校図書館に展示してあります。

本の扉を開くと、広く深くワクワクする世界が広がっています。担任するクラスで「先生に読んでもらおうと自分で読むのと違うお話みたいに感じて面白い!」と言ってくれた子どもがいました。そのようなときには、子どもたちと一緒にお話の世界を「つくる」ことができたとても嬉しく感じます。それこそが、読み聞かせの醍醐味です。

3学期は『本とコラボ給食』を企画しています。お話に出てくるメニューの中で、どれが給食に選ばれたのでしょうか。3月の献立表を楽しみにしてください。